

## 事業進捗状況報告について

## 1 事業名

狩猟者育成センター（仮称）整備事業（平成 30 年度審査事業）

【所管部局：農政環境部】

## 2 整備目的

- ・狩猟体験や情報発信を通じた新たな狩猟者の確保
- ・狩猟者の捕獲技術（銃、わな）の向上
- ・狩猟者の法令や安全対策の知識の習得

## 3 整備概要

(1) 名 称 狩猟者育成センター（仮称）

(2) 場 所 三木市吉川町福井・上荒川

(3) 敷地面積 約 78.9ha（このうち、約 15.9ha をセンターの整備地に、63.0ha をわなの実践研修等に活用）

(4) 基本的な考え方

- ・多様な銃種・射撃タイプに対応した射撃練習場とわな猟の練習場を備えた施設
- ・クレー射撃の国際大会を行える西日本最大級の射撃場

(5) 各施設概要

区 分		規 模	考 え 方
クレー射撃場	トラップ 〔手前から奥へ標的が移動〕 スキート 〔横や斜め方向に標的が移動〕 (併用 3 面)	4.1ha	狩猟者の技術向上に加え、施設の利益向上のために国際大会が可能な規模の施設を整備。 トラップ：国際大会：3 面以上、国内大会：2 面以上 スキート：国内大会：2 面以上 <b>※クレー競技をそれぞれが 3 面利用できる射撃場としては西日本最大規模</b>
標的射撃場	ライフル (1 面、5 射座)		初心者が練習できるように、 <u>スラッグ射撃場</u> と熟練者の利用が多い <u>ライフル射撃場</u> を別途設置。 エアライフル射撃場は、高性能空気銃という新たな需要の高まりを受けて 100m とする。 射座数・標的までの距離は、関係団体等の意見を踏まえ決定。 <b>※100mの空気銃射撃場は日本最大規模</b>
	スラッグ (1 面、5 射座)		
	空気銃 (1 面、5 射座)		
わな実践フィールド		63.0ha	箱わな・くくりわな・ICT 大型檻等を用いた捕獲技術（わな）の向上を目的として整備。県有環境林の残地を活用。
管理 研修棟 (平屋)	管理	0.026ha	可能な限り県産木材を活用して整備。
	研修	0.01ha	狩猟に関する法令等の座学や、初心者が資格無しで銃の模擬練習（ビームライフル）ができる研修施設を整備。
	標的射撃(ビームライフル)	0.011ha	捕獲から精肉処理、流通に至るまでの知識を習得し、ジビエの利用拡大を担う人材育成を目的とした研修を実施。
駐車場・管理道		11.7ha	大規模な大会やバスを利用した団体利用者に対応できる 150 台収容の大型駐車場整備。
火薬庫		0.007ha	販売する弾の保管庫

#### 4 整備費 約25億円

#### 5 スケジュール

- ・令和元年度 基本計画、実施設計、測量
- ・令和2年度 用地造成
- ・令和3年度 建築工事
- ・令和4年度 供用開始

#### 【平成30年度総合事業等審査会における審査結果】

近年、中山間地域などにおいて、シカ、イノシシ、サルなど野生鳥獣による農林水産業被害が深刻化しており、県内の被害規模は、全国6番目となる年間約5億円にのぼる。また、ツキノワグマ等による人身被害も増加しているほか、シカの食害による森林植生の消失、それに伴う土砂災害危険度の高まりや生物多様性への影響など様々な問題が生じており、その対策を急がなければならない。

県では、「兵庫県鳥獣保護管理事業計画」に基づき、「個体数管理」「被害管理」「生息地管理」の対策に取り組んでいる。「個体数管理」に不可欠な銃の狩猟免許所持者数が減少し、高齢化が進行するなか、狩猟者一人あたりの捕獲力の向上や新たな狩猟の担い手の確保育成により、将来にわたり、持続可能な捕獲力を維持し、生息数の増加や人里等への生息域の拡大を抑制することが喫緊の課題である。さらには、狩猟事故を防止する安全管理や被害対策、野生動物の生態を知り保護・管理のできる狩猟者の養成にも取り組んで行かなければならない。

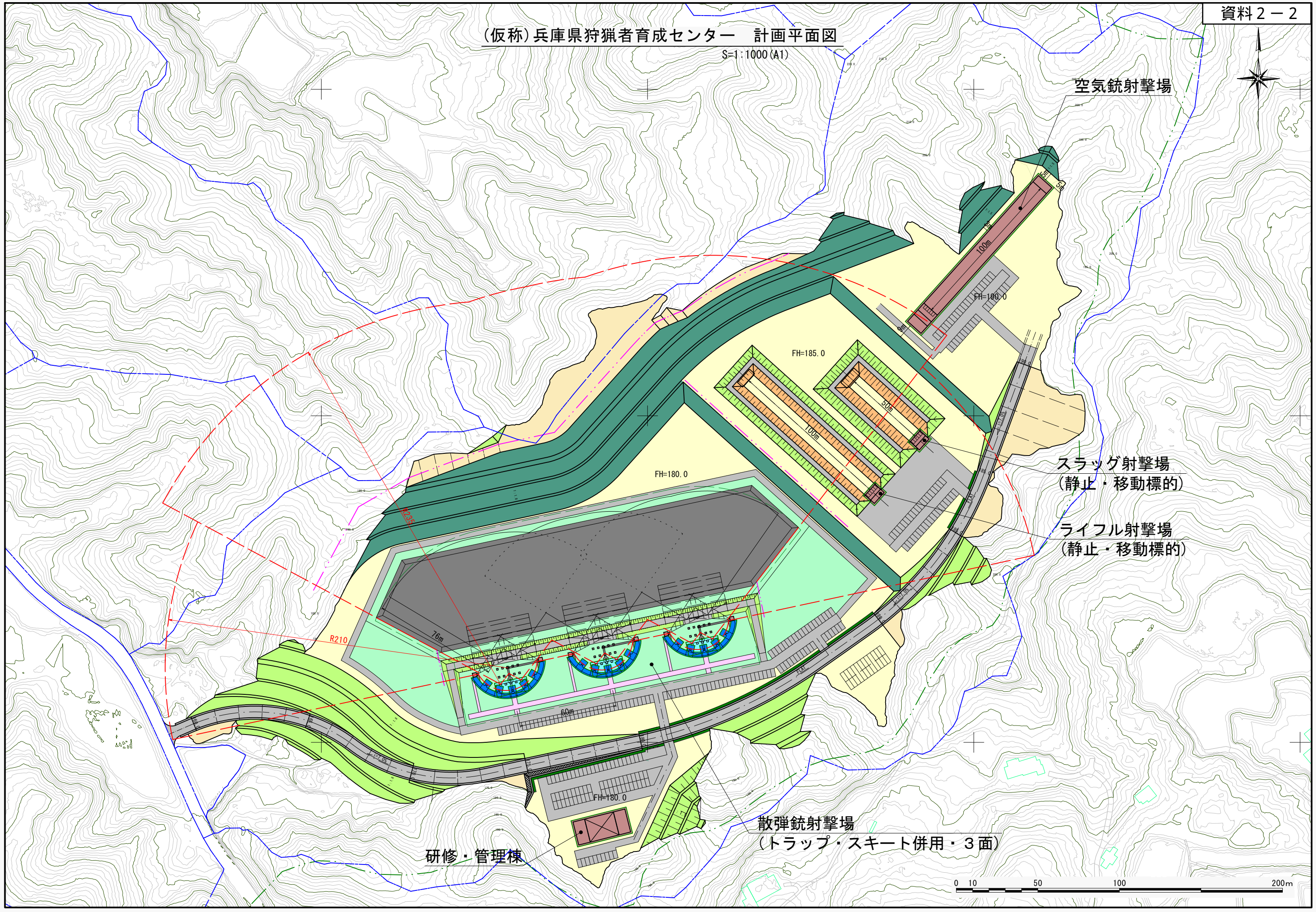
こうしたなか、「狩猟者育成センター（仮称）」の整備は、県内狩猟者の射撃練習機会の増加とともに、野生動物の保護・管理に関する知識やわな捕獲技術の習得など、総合的な人材育成に寄与するものと考えられる。また、これにより狩猟者による野生動物の個体数の調整ができるようになり、鳥獣害対策費（捕獲、柵整備等）の抑制や、農林水産被害、人身被害、森林植生消失の軽減等が期待される。

以上のことから、当事業の推進は妥当である。なお、事業推進にあたっては、次の点に留意すること。

- ① 利用者の拡大のための的確なニーズの把握に努めるとともに、それを踏まえた実効性のある対応を行うこと。
- ② 当該事業の成果測定のエビデンスとなる被害状況等について、正確なデータ収集に努め検証を行うこと。
- ③ 狩猟技術の向上に留まらず、捕獲獣肉の利用を含む持続可能な鳥獣害対策に資する研修にも注力すること。

(仮称)兵庫県狩猟者育成センター 計画平面図

S=1:1000 (A1)



# 集 落 診 断 カ ル テ

集落名:		調査月日:	事前	年	月	日	診断者:	
			本調査	年	月	日		

集落の地理的な条件(地形、気候)

被害の大きさ ・ ほとんど無い ・ 軽度 ・ 大きい ・ 深刻 防御が必要な作物

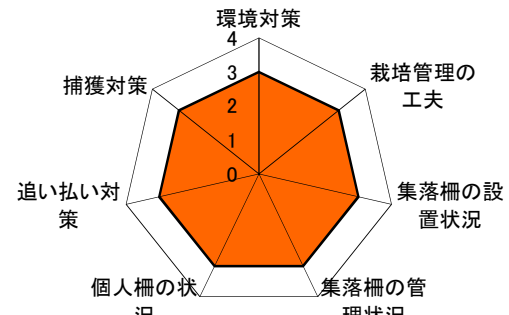
被害の特徴 (加害獣の種類や行動、栽培作物種等に起因する特徴など)

対策の対象となる動物の優先順位 (調査資料は別途作成)

1	2	3	4
---	---	---	---

被害対策の現状 (1~4点で表示)

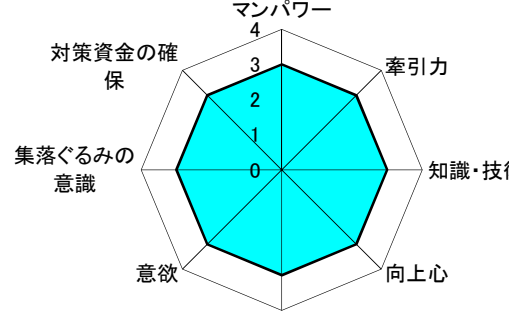
項目	得点	具体例
環境対策	3	ひこばえ、放棄作物、果樹、藪
栽培管理の工夫	3	栽培作物、作物レイアウト等
集落柵の設置状況	3	設置ルート、破損
集落柵の管理状況	3	定期点検、補修
個人柵の状況	3	正しい設置方法と点検
追い払い対策	3	集落ぐるみの追い払い
捕獲対策	3	集落、猟友会の連携



総合判定: 出来ていない ・ ある程度出来ている ・ 対策は進んでいる ・ 集落ぐるみでの対策に取り組んでいる

集落の現状 (1~4点で表示)

項目	得点	具体例
マンパワー	3	住民数、年齢構成など
牽引力	3	営農組織、中心的農家の存在
知識・技術	3	被害対策の実施状況
向上心	3	講習会、研修会
指導の要望	3	指導の要望の有無
意欲	3	被害対策への意欲
集落ぐるみの意識	3	
対策資金の確保	3	



対策への意欲の総合判定: ない ・ 行政頼み ・ ある ・ 大いにある

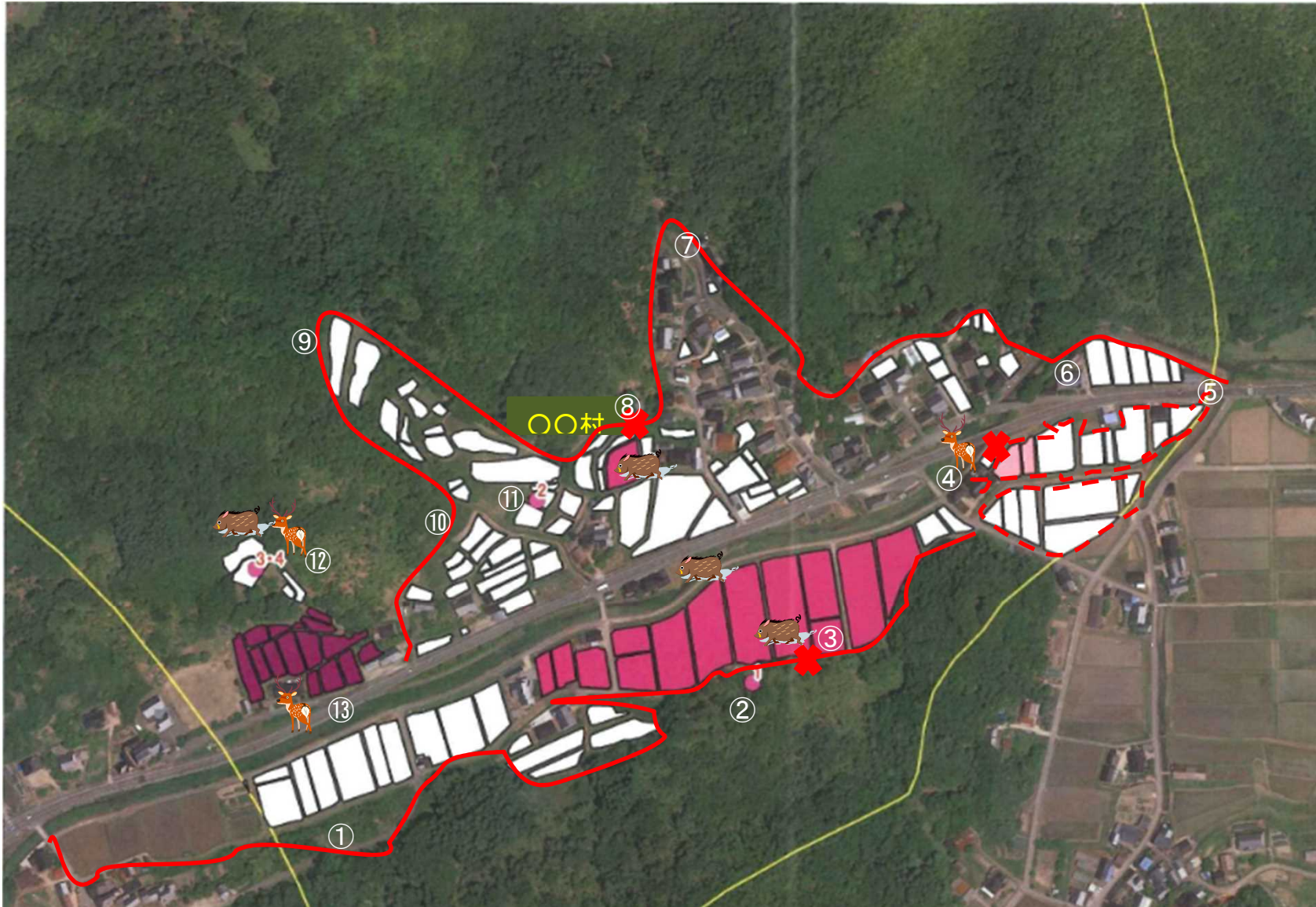
被害対策の実行に障害となる要因・事情

地形等の地理的要因、マンパワー不足、高齢化等、集落特有の事情

支援方向

(個別対策の指導、集落ぐるみへの誘導、対策リーダーの育成、集落機能支援優先(獣害対策以前の課題)等)

具体的な処方(総括:詳細は別添対策の提案)



●	凡 例 わな設置場所
—	防護柵
—	金網柵
- - -	ワイヤーメッシュ
- - -	電気柵
⋯	のり網柵
- · - ·	その他
✖	破損箇所
■	被害割合(%)
□	なし
□	1~
□	30~
□	50~
□	80~
■	100
🦌	痕跡
🦌	シカ
🐗	イノシシ
😊	その他
😊	残渣放置

-5-

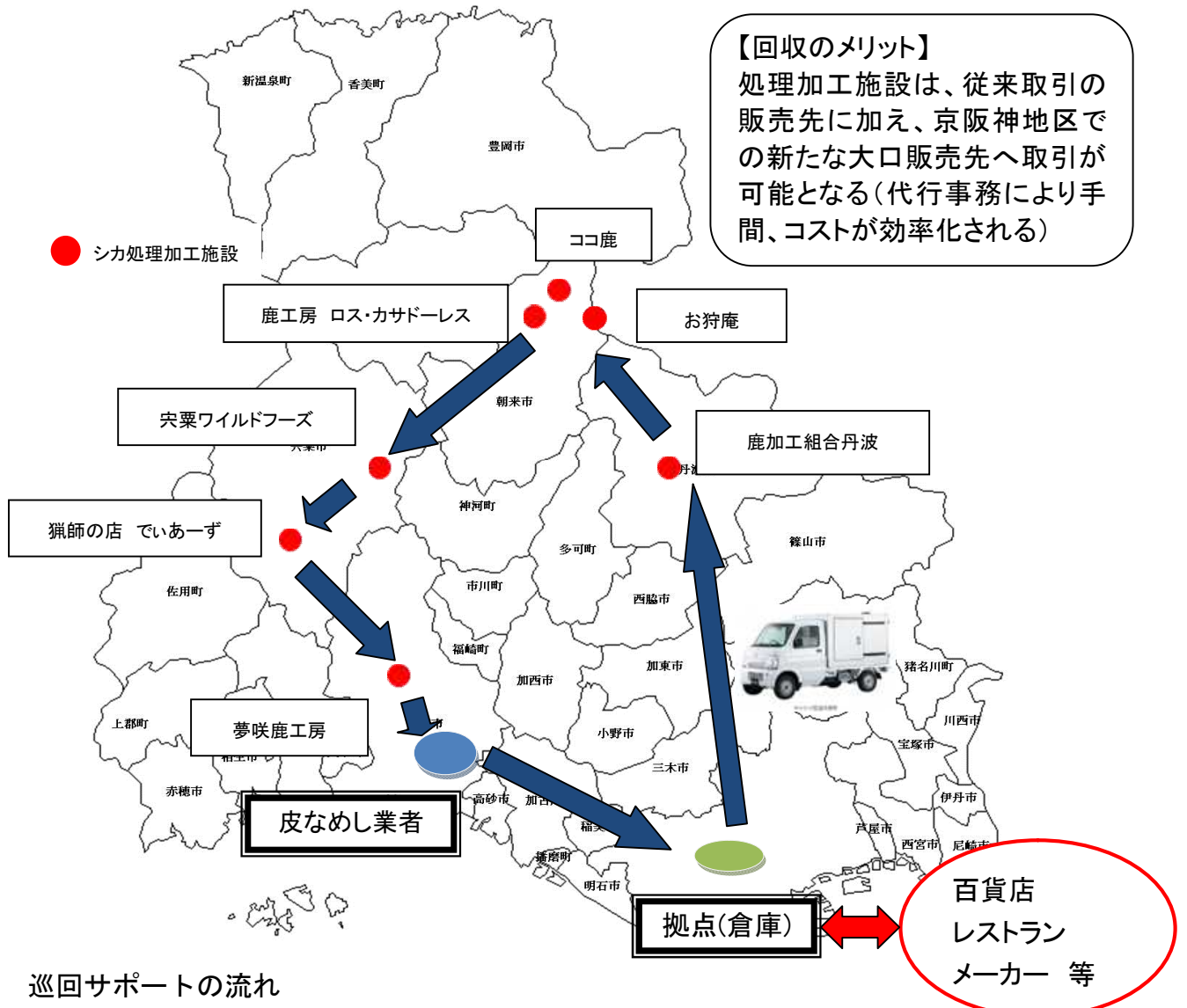
# シカ丸ごと1頭活用大作戦（シカ肉・皮の巡回サポート）

## 1 巡回によるロットの拡大

ひょうごニホンジカ推進ネットワークの構成員が主体(流通者)となって、冷蔵回収車により、県内のシカ処理加工施設(7施設)を巡回して、シカ肉の部位とシカ皮を一括して集約する仕組みを構築する。※共通のコンテナ箱を利用して、梱包配送を効率化する

### 【参加を想定する処理加工施設：県内7施設】

- 丹波：鹿加工組合丹波
- 但馬：ロス・カサドーレス、お狩庵、ココ鹿
- 播磨：宍粟ワイルドフーズ、猟師の店でいあーず、夢咲鹿工房



## 2 巡回サポートの流れ

- ①流通者は、神戸市内の倉庫を拠点に、神戸市倉庫→丹波→但馬→播磨の順で、シカ肉、皮、角を同時に回収し、拠点の倉庫(冷蔵庫)に保管
- ② シカ皮は、一旦、姫路市内のタンナー(皮革製品製造会社)に納入し、次回の回収時にタンナーで鞣された革を引取り、拠点の倉庫(冷蔵庫)に保管
- ③ ネットワーク構成員(保管管理・販売)は、回収したシカ肉、角、革を百貨店、レストラン、卸売店、メーカーへ販売

事業名 (審査日)	審査結果	審査結果への対応状況等																																																																																											
		審査時点での事業計画内容	実施段階での事業内容																																																																																										
狩猟者育成センター（仮称）整備事業 (H31.1.28)	<p>近年、中山間地域などにおいて、シカ、イノシシ、サルなど野生鳥獣による農林水産業被害が深刻化しており、県内の被害規模は、全国6番目となる年間約5億円にのぼる。また、ツキノワグマ等による人身被害も増加しているほか、シカの食害による森林植生の消失、それに伴う土砂災害危険度の高まりや生物多様性への影響など様々な問題が生じており、その対策を急がなければならない。</p> <p>県では、「兵庫県鳥獣保護管理事業計画」に基づき、「個体数管理」「被害管理」「生息地管理」の対策に取り組んでいる。「個体数管理」に不可欠な銃の狩猟免許所持者数が減少し、高齢化が進行するなか、狩猟者一人あたりの捕獲力の向上や新たな狩猟の担い手の確保育成により、将来にわたり、持続可能な捕獲力を維持し、生息数の増加や人里等への生息域の拡大を抑制することが喫緊の課題である。さらには、狩猟事故を防止する安全管理や被害対策、野生動物の生態を知り保護・管理のできる狩猟者の養成にも取り組んで行かなければならない。</p> <p>こうしたなか、「狩猟者育成センター（仮称）」の整備は、県内狩猟者の射撃練習機会の増加とともに、野生動物の保護・管理に関する知識やわな捕獲技術の習得など、総合的な人材育成に寄与するものと考えられる。また、これにより狩猟者による野生動物の個体数の調整ができるようになり、鳥獣害対策費（捕獲、柵整備等）の抑制や、農林水産被害、人身被害、森林植生消失の軽減等が期待される。</p> <p>以上のことから、当事業の推進は妥当である。なお、事業推進にあたっては、次の点に留意すること。</p>	<p>① 一般社団法人兵庫県猟友会、兵庫県クレ射撃協会、兵庫県ライフル射撃協会、県内外の射撃場の意見を踏まえた施設整備内容とする。</p>	<p>① 関係団体等からの意見（要望、ニーズ、課題）の集約と反映 (1) 意見交換会の開催（5月、8月の2回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">令和元年5月29日</td> <td>須磨総合射撃場 管理者</td> </tr> <tr> <td>上郡クレ射撃場 管理者</td> </tr> <tr> <td>(一社)兵庫県猟友会 会長</td> </tr> <tr> <td>兵庫県クレ射撃協会 会長</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">令和元年8月22日</td> <td>兵庫県ライフル射撃協会 会長</td> </tr> <tr> <td>(一社)兵庫県猟友会 会長</td> </tr> <tr> <td>兵庫県クレ射撃協会 会長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県外の射撃場を視察（福岡、岡山、富山、神奈川の4箇所）                  ア クレ射撃場は、国際大会が開催可能な規模に変更。（トラップ、スキート各2面→トラップ、スキート併用3面）                  イ 初心者が練習できるように、熟練者の利用が多いライフル射撃場とは別にスラッグ専用射撃場を整備。（ライフル、スラッグ併用射撃場→スラッグ専用射撃場を追加）                  ウ ライフル、スラッグ射撃場の射座数・標的までの距離は、各種競技団体の意見を踏まえ決定。（5射座、50m標的→5射座×2、ライフル：5射座、100m/スラッグ：5射座、50m）                  エ エアライフル射撃場は、高性能空気銃という新たな需要の高まりを受けて距離を延長（50m→100m）</p>	開催日	参加者	令和元年5月29日	須磨総合射撃場 管理者	上郡クレ射撃場 管理者	(一社)兵庫県猟友会 会長	兵庫県クレ射撃協会 会長	令和元年8月22日	兵庫県ライフル射撃協会 会長	(一社)兵庫県猟友会 会長	兵庫県クレ射撃協会 会長																																																																															
	開催日	参加者																																																																																											
	令和元年5月29日	須磨総合射撃場 管理者																																																																																											
上郡クレ射撃場 管理者																																																																																													
(一社)兵庫県猟友会 会長																																																																																													
兵庫県クレ射撃協会 会長																																																																																													
令和元年8月22日	兵庫県ライフル射撃協会 会長																																																																																												
	(一社)兵庫県猟友会 会長																																																																																												
	兵庫県クレ射撃協会 会長																																																																																												
<p>① 利用者の拡大のための的確なニーズの把握に努めるとともに、それを踏まえた実効性のある対応を行うこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設区分</th> <th colspan="2">審査時点</th> <th colspan="2">実施段階</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>規模</th> <th>数量</th> <th>規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クレ射撃 (散弾銃)</td> <td>トラップ</td> <td>2面</td> <td rowspan="2">約4.3ha</td> <td>3面 (併用)</td> <td rowspan="2">4.1ha</td> </tr> <tr> <td>スキート</td> <td>2面</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">標的射撃 (ライフル銃)</td> <td>ライフル</td> <td>1面</td> <td rowspan="3">約4.3ha</td> <td>1面5射座</td> <td rowspan="3">4.1ha</td> </tr> <tr> <td>スラッグ</td> <td>-</td> <td>1面5射座</td> </tr> <tr> <td>空気銃</td> <td>1面</td> <td>1面5射座</td> </tr> <tr> <td>わな実践フィールド</td> <td>1面</td> <td>約65.0ha</td> <td>1面</td> <td>63ha</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">管理研修棟 (平屋)</td> <td>管理</td> <td rowspan="3">1棟</td> <td>約0.026ha</td> <td rowspan="3">1棟</td> <td>0.026ha</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>約0.01ha</td> <td>0.01ha</td> </tr> <tr> <td>標的射撃 (ビームライフル)</td> <td>約0.011ha</td> <td>0.011ha</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>150台分</td> <td>約0.375ha</td> <td>150台分</td> <td>0.375ha</td> </tr> <tr> <td>火薬庫</td> <td>1棟</td> <td>約0.007ha</td> <td>1棟</td> <td>0.007ha</td> </tr> </tbody> </table>	施設区分	審査時点		実施段階		数量	規模	数量	規模	クレ射撃 (散弾銃)	トラップ	2面	約4.3ha	3面 (併用)	4.1ha	スキート	2面	標的射撃 (ライフル銃)	ライフル	1面	約4.3ha	1面5射座	4.1ha	スラッグ	-	1面5射座	空気銃	1面	1面5射座	わな実践フィールド	1面	約65.0ha	1面	63ha	管理研修棟 (平屋)	管理	1棟	約0.026ha	1棟	0.026ha	研修	約0.01ha	0.01ha	標的射撃 (ビームライフル)	約0.011ha	0.011ha	駐車場	150台分	約0.375ha	150台分	0.375ha	火薬庫	1棟	約0.007ha	1棟	0.007ha	<p>【関係団体等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(一社)兵庫県猟友会</td> <td>3,481人</td> </tr> <tr> <td>兵庫県クレ射撃協会</td> <td>約40人</td> </tr> <tr> <td>兵庫県ライフル射撃協会</td> <td>143人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【意見を聞いた射撃場】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>射撃場名</th> <th>クレ</th> <th>ライフル</th> <th>エアライフル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>須磨総合射撃場</td> <td>スキート1面</td> <td>5射座 (50m)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上郡クレ射撃場</td> <td>スキート1面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>福岡県立総合射撃場</td> <td>トラップ2面 スキート2面</td> <td>5射座 (50m/100m)</td> <td>28射座 (10m)</td> </tr> <tr> <td>岡山県クレ射撃場</td> <td>トラップ2面 スキート2面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>南砺市クレ射撃場</td> <td>トラップ1面 スキート1面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>神奈川県立伊勢原射撃場</td> <td>トラップ2面 スキート面</td> <td>10射座 (50m/100m)</td> <td>26射座 (10m)</td> </tr> </tbody> </table>	団体名	会員数	(一社)兵庫県猟友会	3,481人	兵庫県クレ射撃協会	約40人	兵庫県ライフル射撃協会	143人	射撃場名	クレ	ライフル	エアライフル	須磨総合射撃場	スキート1面	5射座 (50m)	-	上郡クレ射撃場	スキート1面	-	-	福岡県立総合射撃場	トラップ2面 スキート2面	5射座 (50m/100m)	28射座 (10m)	岡山県クレ射撃場	トラップ2面 スキート2面	-	-	南砺市クレ射撃場	トラップ1面 スキート1面	-	-	神奈川県立伊勢原射撃場	トラップ2面 スキート面	10射座 (50m/100m)	26射座 (10m)
施設区分		審査時点		実施段階																																																																																									
	数量	規模	数量	規模																																																																																									
クレ射撃 (散弾銃)	トラップ	2面	約4.3ha	3面 (併用)	4.1ha																																																																																								
	スキート	2面																																																																																											
標的射撃 (ライフル銃)	ライフル	1面	約4.3ha	1面5射座	4.1ha																																																																																								
	スラッグ	-		1面5射座																																																																																									
	空気銃	1面		1面5射座																																																																																									
わな実践フィールド	1面	約65.0ha	1面	63ha																																																																																									
管理研修棟 (平屋)	管理	1棟	約0.026ha	1棟	0.026ha																																																																																								
	研修		約0.01ha		0.01ha																																																																																								
	標的射撃 (ビームライフル)		約0.011ha		0.011ha																																																																																								
駐車場	150台分	約0.375ha	150台分	0.375ha																																																																																									
火薬庫	1棟	約0.007ha	1棟	0.007ha																																																																																									
団体名	会員数																																																																																												
(一社)兵庫県猟友会	3,481人																																																																																												
兵庫県クレ射撃協会	約40人																																																																																												
兵庫県ライフル射撃協会	143人																																																																																												
射撃場名	クレ	ライフル	エアライフル																																																																																										
須磨総合射撃場	スキート1面	5射座 (50m)	-																																																																																										
上郡クレ射撃場	スキート1面	-	-																																																																																										
福岡県立総合射撃場	トラップ2面 スキート2面	5射座 (50m/100m)	28射座 (10m)																																																																																										
岡山県クレ射撃場	トラップ2面 スキート2面	-	-																																																																																										
南砺市クレ射撃場	トラップ1面 スキート1面	-	-																																																																																										
神奈川県立伊勢原射撃場	トラップ2面 スキート面	10射座 (50m/100m)	26射座 (10m)																																																																																										

事業名 (審査日)	審査結果	審査結果への対応状況等																																																	
		審査時点での事業計画内容	実施段階での事業内容																																																
狩猟者育成センター(仮称)整備事業 (H31.1.28)	② 当該事業の成果測定のエビデンスとなる被害状況等について、正確なデータ収集に努め検証を行うこと。  ③ 狩猟技術の向上に留まらず、捕獲獣肉の利用を含む持続可能な鳥獣害対策に資する研修にも注力すること。	② 従来の野生鳥獣による農林業被害の市町別実施調査に加え、全農業集落へのアンケート調査を行っており、より適切な被害実態の把握に努める。  ③ 兵庫県ではシカ肉をはじめイノシシ肉や皮、角等の利用拡大を進めており、そのために狩猟者を対象とした適切な研修等の事業を行っていく。  ジビエ利用量 (H30 野生鳥獣資源利用実態調査) <table border="1"> <thead> <tr> <th>都道府県等</th> <th>イノシシ</th> <th>シカ</th> <th>ペットフード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>—</td> <td>622(1)</td> <td>182(1)</td> </tr> <tr> <td>長野</td> <td>11</td> <td>48(2)</td> <td>23(3)</td> </tr> <tr> <td>岐阜</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>19(4)</td> </tr> <tr> <td>京都</td> <td>11</td> <td>25(5)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>兵庫</td> <td>117(1)</td> <td>33(4)</td> <td>38(2)</td> </tr> <tr> <td>和歌山</td> <td>25(2)</td> <td>24</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>鳥取</td> <td>12</td> <td>48(2)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>岡山</td> <td>18(5)</td> <td>10</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>広島</td> <td>19(4)</td> <td>16</td> <td>18(5)</td> </tr> <tr> <td>長崎</td> <td>25(2)</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大分</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>18(5)</td> </tr> </tbody> </table> 単位：t(トン)	都道府県等	イノシシ	シカ	ペットフード	北海道	—	622(1)	182(1)	長野	11	48(2)	23(3)	岐阜	9	21	19(4)	京都	11	25(5)	8	兵庫	117(1)	33(4)	38(2)	和歌山	25(2)	24	1	鳥取	12	48(2)	13	岡山	18(5)	10	17	広島	19(4)	16	18(5)	長崎	25(2)	4	—	大分	14	9	18(5)	② 市町での野生鳥獣による農林業被害調査、全農業集落へのアンケート調査に品目ごとの生産量に対する被害割合の記載欄を設定し、精度向上を図る。さらに、市町から委託を受けた民間の専門事業者が被害集落を対象に野生鳥獣の侵入防止柵の整備や捕獲などの被害対策を指導・支援、その取組の中で集落毎のカルテを作成し、被害状況の正確な把握に努める。 また、カワウについては、水面下での被害であり実態把握が難しく、関西広域連合においても生息数調査及び内水面漁協からのアンケートでの対策効果の評価・検証を行うこととしている。本県では市町、内水面漁協、県猟友会等で構成するカワウ被害対策協議会を平成29年3月に設置し、被害実態を確認しながら対策を行うこととしている。 〔鳥獣対策サポーター派遣支援の取組を農林業被害の大きい集落(1500集落)で実施できるように推進中。〕  ③ 捕獲獣肉の利用拡大と鳥獣害対策に資する研修 (1) シカなどの捕獲鳥獣の肉・皮等の地域資源としての利用拡大のための、処理加工施設への搬入・処理量を拡大促進する取組を実施。 具体的には、猟友会、シカ肉処理加工施設、レストラン等で構成するひょうごニホンジカ推進ネットワーク(H27.5設立。R元9末、44団体)が中心となって文鹿祭(毎年2月第4火曜)等の全県イベントや地域イベントでシカ肉を含むジビエやドッグフード、シカ皮加工品、骨などのPRや商談会を開催。 令和元年度から県内の処理施設へ肉、皮、角等を回収、必要とする施設やレストラン等へ供給している。 また、処理加工施設の整備や冷凍冷蔵庫の導入への支援も行っている。  (2) 鳥獣害対策に資する研修としては、森林動物センターで野生動物の生態や被害対策、ジビエ利用などの研修を市町職員や集落、狩猟者等を対象に実施しており、さらに、上記のネットワークが、兵庫県下の処理施設において、捕獲後の血抜きなどから精肉の処理、流通に至るまでの工程を広く啓発することを目的とした「1次処理カッティングセミナー」を実施している。 また、狩猟者育成センターに研修施設を整備し、狩猟に関する法令等の座学の他、ジビエ利用を考慮した捕獲から精肉・加工処理、流通に至るまでの知識を習得し、ジビエの利用拡大を担う人材の育成を目的とした研修を積極的に実施していく。
都道府県等	イノシシ	シカ	ペットフード																																																
北海道	—	622(1)	182(1)																																																
長野	11	48(2)	23(3)																																																
岐阜	9	21	19(4)																																																
京都	11	25(5)	8																																																
兵庫	117(1)	33(4)	38(2)																																																
和歌山	25(2)	24	1																																																
鳥取	12	48(2)	13																																																
岡山	18(5)	10	17																																																
広島	19(4)	16	18(5)																																																
長崎	25(2)	4	—																																																
大分	14	9	18(5)																																																